

宮城県行政経営推進委員会における評価の実施について

1 趣旨

県が実施した行財政運営・改革の取組について、外部有識者で構成する宮城県行政経営推進委員会において客観的な立場で取組を評価することにより、今後の行財政運営・改革の取組に生かすもの。

2 評価の対象

「宮城県行財政運営・改革方針（第1期）令和4年度実施状況報告」に記載の、35の取組

3 評価方法

- ・各所属の取組に対して、成果や過程を下記1～24の視点を参考に評価。優れた取組である等、評価すべき点がある場合は具体的な意見をコメントします。

＜評価の視点＞

1 県民ニーズ把握	2 先見性	3 先進性	4 広域性
5 県民参画	6 民間の活力	7 財源確保	8 デジタル技術活用
9 スピード感	10 利便性	11 サービスの質	12 県民満足度
13 安心・信頼	14 情報発信	15 説明責任	16 見える化
17 事務効率化	18 コスト削減	19 創意工夫	20 費用対効果
21 職員能力向上	22 汎用性	23 ワークエンゲイジメント	24 組織活性

- ・委員会を開催し、各取組の評価について委員間で意見交換を行います。
- ・事務局（行政経営推進課）で各委員の評価を取りまとめ、各委員へ確認の上、委員会における評価として決定します。

4 スケジュール（予定）

令和5年6月中旬	評価対象となる取組、評価シートを各委員へ送付 【委員】取組の評価
令和5年7月3日	行政経営推進委員会で審議 【委員】各取組の評価について意見交換
令和5年7月4日	【委員】評価シートを事務局へ提出
令和5年7月中旬	各委員の評価を取りまとめ、各委員へ確認の上、委員会の評価として決定。
令和5年7月下旬	委員会の評価を追記した宮城県行財政運営改革方針（第1期）令和4年度実施状況報告書（案）を作成・完成。
令和5年8月7日	行政改革推進本部会議へ報告
令和5年8月21日	県議会総務企画委員会で報告書を配布、公表